

# 学び実行する 環境保全



エコスクールやリサイクルフェアの開催、また、資源の集団回収や清掃センターの施設見学などとおして、身近なごみの実態を伝えると共に、子どもから大人まで多くの方が環境問題について楽しく学び、自分事として取り組むきっかけづくりを行なっています。

With eco-schools, recycling fairs, group resource collections, tours of garbage processing plants, and other activities, we are educating people about local garbage, enabling many children and adults to learn about environmental issues in a fun way, and creating opportunities for people to take action themselves.



## 「リサイクルフェア」



5月30日から6月5日まで  
の「ごみ減量・リサイクル週間」にちなみ、毎年リサイクルフェアを開催しています。会場では、3Rに関するさまざまな啓発活動を行なっています。

- ごみの中の宝物展
- フリーマーケット
- 市民グループの  
実践活動などの展示
- 水銀使用廃製品の回収
- 小型家電の回収 など



## 「清掃センター」

### 集団回収

資源の有効活用とごみの減量を推進するため、町内会や自治会、子ども会などの各団体が1・2か月に1回程度資源回収を実施しています。

### リサイクルセンター

分別収集や集団回収で回収されたペットボトルとびん類の選別を行なっています。障害のある方が手作業で分別をし、再商品化工場へ搬出後、衣類、ペットボトルなどに再利用されます。



## 「エコスクール」

「環境問題は、私たち一人ひとりが行動しなければ解決しない」という共通の思いから、「楽しく」「体験・体感」「発見・気付き」を大切に、自ら進んで環境問題に取り組むことができるよう、さまざまな講座を開催しています。

- 講座例**
- ・ ヒメボトルに会いに行こう
  - ・ 親子農業体験教室
  - ・ 東海市自然探検隊
  - ・ 工場で環境への取り組みを学ぼう



### 小学校施設見学

清掃工場、リサイクルセンター、資源分別収集常設設場最終処分場を見学し、清掃センターで行なっているごみ処理や、資源化処理、資源分別収集の状況を学びます。

また、3Rの必要性について説明し、具体的な取り組み方についても学びます。



### 新ごみ処理施設

東海市と知多市は、両市の現ごみ処理施設などが耐用年数を迎える時期を見据え、2023年度に両市による新しいごみ処理施設などの完成を目指して建設計画を進めています。



### 3Rとは

- Reduce** (リデュース) むだなごみの量をできるだけ少なくすること
- Reuse** (リユース) 一度使ったものをごみにしないで何度も使うこと
- Recycle** (リサイクル) 使い終わったものをもう一度資源に戻して製品を作ること

第3章 環境・市民生活

# 災害に つよいまちへ




毎日の安心安全を守るための消防本部や消防団を始め、いざという時の自然災害への備えとして、避難所などの整備を進めています。

また、市民一人ひとりの防災意識を高めることを目的として、市民参加型の訓練や体験会を開催しています。

Beginning with the fire-defense headquarters and volunteer firefighting groups, we are establishing evacuation shelters and other facilities in preparation for potential natural disasters. As well, we organize citizen-participation training and practice drills, with the goal of raising disaster awareness in individuals.



## 「消防本部」

東海市消防本部は、1消防署・2出張所(北出張所・南出張所)にて、1年間365日24時間休むことなく市民の安心安全を守っています。

消防車26台・救急車4台の体制で、迅速かつ適切に対応できるよう、消防体制の更なる充実強化に努めています。



## 「消防団」

地域の有志からなる消防団は、災害時には消防本部及び消防署と共に昼夜を問わず災害の防御にあたります。1本部9分団198人で構成され、消防隊の支援活動や地域の防災リーダーなど任務は多岐にわたります。団員は「郷土愛護の精神」のもと、「丸となり」安全で心の安らぐまち」を目指して活動しています。

## 「防災」

### 防災カメラ

大規模災害発生時に、被害状況を瞬時に把握し、避難勧告や避難所開設などの初動体制の確立を図るため、市内11箇所に計12台の防災カメラを設置しています。概ね市内全域をリアルタイムで確認することができます。

### 千鳥津波避難所 千鳥健康交流の家

津波災害や高潮災害において大きな被害が想定されている名和町北犬山・南柴田地区の避難所として平成27年(2015年)に建設されました。

災害発生時には3階以上が避難所となり、約300人が避難できます。



### 養父児童館 養父健康交流の家

「予備拠点避難所」「津波一時避難ビル」に指定されており、津波や高潮災害が発生した際には、ただちに避難所として利用できます。



### 中央防災倉庫

災害時に迅速に食糧や飲料水などの物資を供給できるように、市役所東側に設置しています。市内の小中学校などに設置している防災倉庫と合わせ、災害時の備えを図っています。



### 市民総合防災訓練

大規模災害から被害を最小限に抑えるため、避難訓練や給水活動、応急手当・搬送法の訓練、消火訓練、炊き出し訓練などを行います。



### 消防親子体験ひろば

消防のさまざまな体験とおして、親子で火災予防について楽しく学べる場です。保育園・幼稚園児から小学生までを対象に、太田川駅どんどん広場で実施し、より多くの親子が火災予防について学ぶことができます。

